

ベンチャービジネス論 講義案内

New Venture (Business) Creation A and B
in MOT course

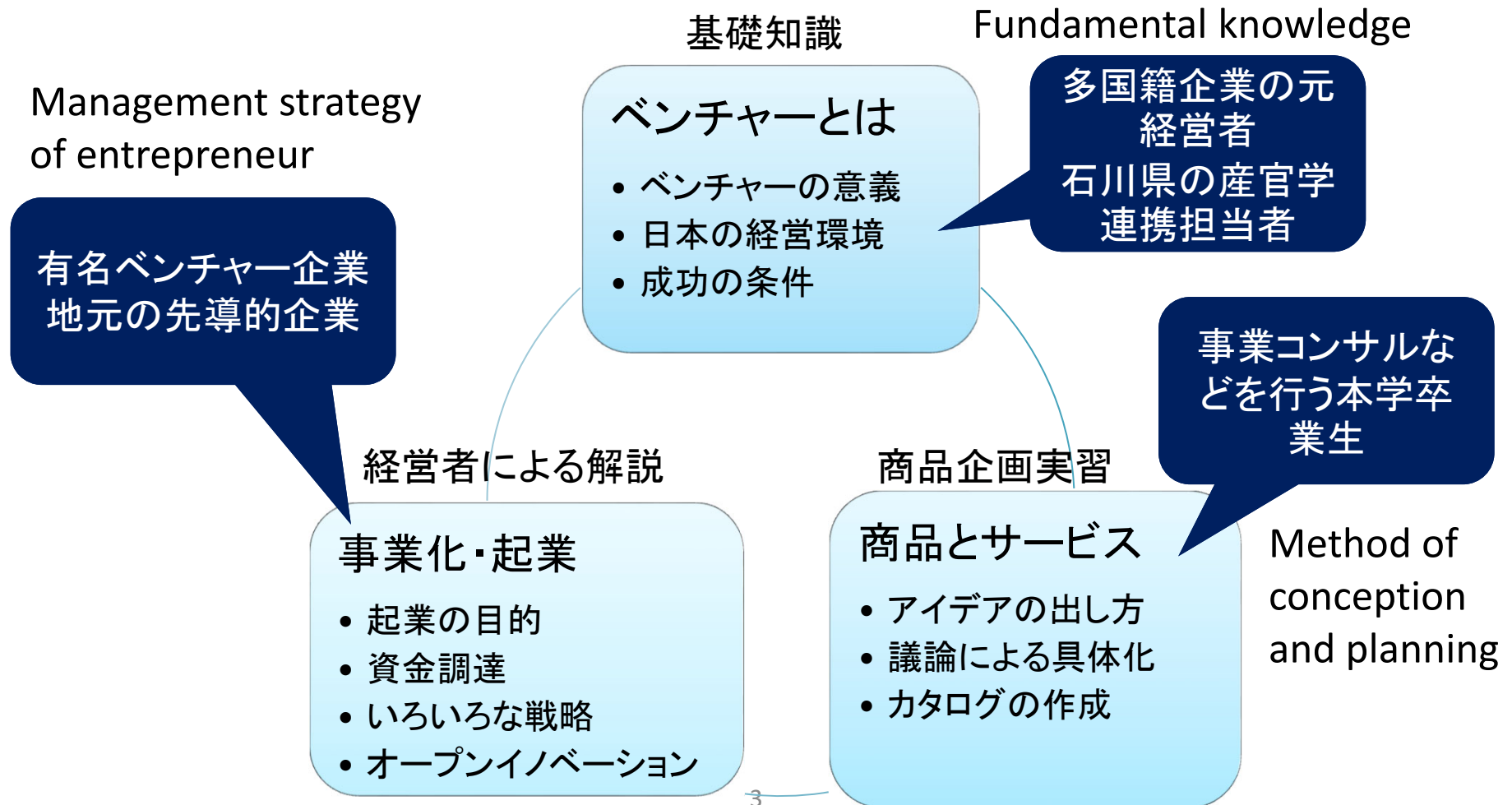
コーディネーター: 北川章夫
理工研究域 電子情報学系

講義案内・資料

- 講義案内URL (Syllabus)
 - <http://jaco.ec.t.kanazawa-u.ac.jp/edu/>
 - https://www.se.kanazawa-u.ac.jp/sangaku/?page_id=209
 - 講義リストのベンチャービジネス論をクリック
- 講義資料
 - The lecture material will be provided in class room that day.
 - 当日、講義室で配布
 - 追加資料等を上記URLで配布することがある
- コーディネータへの連絡(The email address of coordinator)
 - kitagawa@merl.jp

MOTベンチャービジネス論の特長

ベンチャー企業(次頁参照)経営者の話が直接聞けます



ベンチャー企業は和製英語

- 英語で Ventureの意味は
 - Venture capital
- 日本語のベンチャー企業を意味する言葉は
 - Start-up company = 急成長している創業期の企業
 - Venture-backed company = ベンチャーキャピタルの投資を受けている会社

注意 (Note)

1. MOTコースの科目はクォータ制

A(1単位)、B(1単位)両方を受講することを推奨するが、片方でも受講可能。A, B 両方受講する場合は、2科目とも受講登録する必要がある。

- The MOT course is provided in the academic quarter.
 - The subjects named "A"(1 credit) and "B"(1 credit) are assigned for Q1 and Q2, respectively. I suggest that you should take both of the subject A and B.

本科目の内容紹介(Learning content)

- **ベンチャー経営と環境(Business environment of Japan)**
 - ベンチャーの意義について考える(簡単な課題あり)
 - 成功の要件と心構え
 - 海外と日本の経営環境を比較検討
 - 共創社会やオープンイノベーションの考え方を理解する
- **商品・サービスの開発プロセス(Development process of goods or services)**
 - 商品開発とビジネスイノベーション
 - 開発商品が事業化されるプロセスについて概観
 - 商品企画演習(課題あり)
 - 商品開発や事業計画の基本となる商品企画書を作成、グループ討論により改良
- **事業化または起業の実例(Entrepreneurship and Examples)**
 - 地元企業やベンチャー企業の事業展開や商品発想の実例について講義(感想文あり、講師によっては課題が出される)
 - **企業のビジネスモデルの説明があるので、就職活動の参考になる**
 - **企業の多様な個性や戦略、共通の概念も学べる**

参考書

- 講義の中で紹介された参考書は、是非読んでください

成績評価法

- 課題レポート
 - 講師の指示により課題を提出
 - 提出先は講師またはコーディネータが指示します
 - 未提出の場合は0点評価とします
- 出席&感想文の提出（初回は除く）
 - 課題がない場合は感想文を提出
 - 未提出分および出席していない回は0点評価とします
 - アカンサスポータルより提出
 - 特別な理由で出席できない場合は相談して下さい
- 合格要件 = 課題と感想文の合計で60%以上

For the total of Report, Resume and feedback to the lecturers, 60% grade points is required to pass.

履修条件等

- 履修条件
 - 自然科学研究科大学院生(博士、修士課程)
- USTREAM配信について
 - 講義やディスカッションをUSTREAM配信する場合がありますので、予めご了承ください(肖像権の使用許可をお願いします)
 - 知財に関わる内容は配信しません
- 学生への連絡
 - 全員への連絡はアカンサスの「メッセージ」または「お知らせ」を利用しますので、受信できるようにしておいてください
 - Acanthus Portal is used for sending the message to the participants.

スケジュール

Schedule

| 開講日 | 授業内容 | 企業・機関名 | 担当講師 |
|-----------------|--------------------------|---------------------|----------|
| 4月08日 | 講義概要, 研究者のための簡単特許検索 | 理工研究域電子情報学系 | 北川 章夫 |
| 4月15日 | プログラミング体験・アイデアを形にする生き方 | ハックフォープレイ株式会社 | 寺本 大輝 氏 |
| 4月22日 | ダントツ商品からダントツソリューションへの挑戦 | 株式会社小松製作所 | 土井下 健治 氏 |
| 4月26日(金) | ベンチャーを始めた金大生の今 | 株式会社ビクイム | 小野 祐貴 氏 |
| 5月20日 | グローバル化を利用した事業と戦略 | ザインエレクトロニクス株式会社 | 村上 芳道 氏 |
| 5月27日 | 共創による社会ソリューション創出 | NECソリューションイノベータ株式会社 | 金山 義男 氏 |
| 6月03日 | ベンチャー経営とその環境(1) | 元アプライドマテリアルズ株式会社 | 赤坂 洋一 氏 |
| 6月10日 | ベンチャー経営とその環境(2) | 同上 | 赤坂 洋一 氏 |
| 6月17日 | 商品開発とイノベーション(1) | ワイズ福祉情報研究所 | 高田 敬輔 氏 |
| 6月24日 | 誰でもアイデアマンになる方法 | 面白法人カヤック | 柳澤 大輔 氏 |
| 7月01日 | 商品開発とイノベーション(2) | ワイズ福祉情報研究所 | 高田 敬輔 氏 |
| 7月08日 | カフェから始めるイノベーション | Cafe? IKAGAWA DO | 五十川 員申 氏 |
| 7月16日(火) | 商社ビジネス×メーカー機能=モノづくり | 三谷産業株式会社 | 上野 淳 氏 |
| 7月22日 | 数学をビジネスに活用 | 株式会社テクノマセマティカル | 田中 正文 氏 |
| 7月29日 | 新しい+面白い+役立つ=大学研究×ベンチャー起業 | 慶應義塾大学 | 南政 樹 氏 |
| 8月05日 | 石川県工業試験場における産業支援のための研究開発 | 石川県工業試験場 | 上田 芳弘 氏 |

講師陣

Lecturer profiles

- ハックフォープレイ株式会社 代表取締役社長 寺本大輝氏
- 株式会社小松製作所 ICTソリューション本部 ビジネスイノベーション推進部 マイニンググループ グループマネージャー 土井下 健治氏
- 株式会社ビクイム クリエイティブ・エンジニア(代表取締役社長) 小野祐貴氏
- ザインエレクトロニクス株式会社 執行役員 村上芳道氏
- NCEソリューションイノベータ株式会社 北陸支社・新規事業推進グループ 統括マネージャー 金山 義男氏
- 株式会社フジキン 社外顧問(元アプライドマテリアルズ米国本社上級副社長・日本法人代表取締役) 赤坂洋一氏
- ワイズ福祉情報研究所 代表,一般社団法人次世代センサ協議会 理事 高田敬輔氏
- 面白法人カヤック 代表取締役CEO 柳澤大輔氏
- Cafe? IKAGAWA DO オーナー 五十川 員申氏
- 三谷産業株式会社 人事本部 人事部 採用・研修課長 上野淳氏
- 株式会社テクノマセマティカル 代表取締役社長 田中正文氏
- 慶應義塾大学SFC研究所ドローン社会共創コンソーシアム 副代表 南政樹氏
- 石川県工業試験場 企画指導部 部長 上田芳弘氏

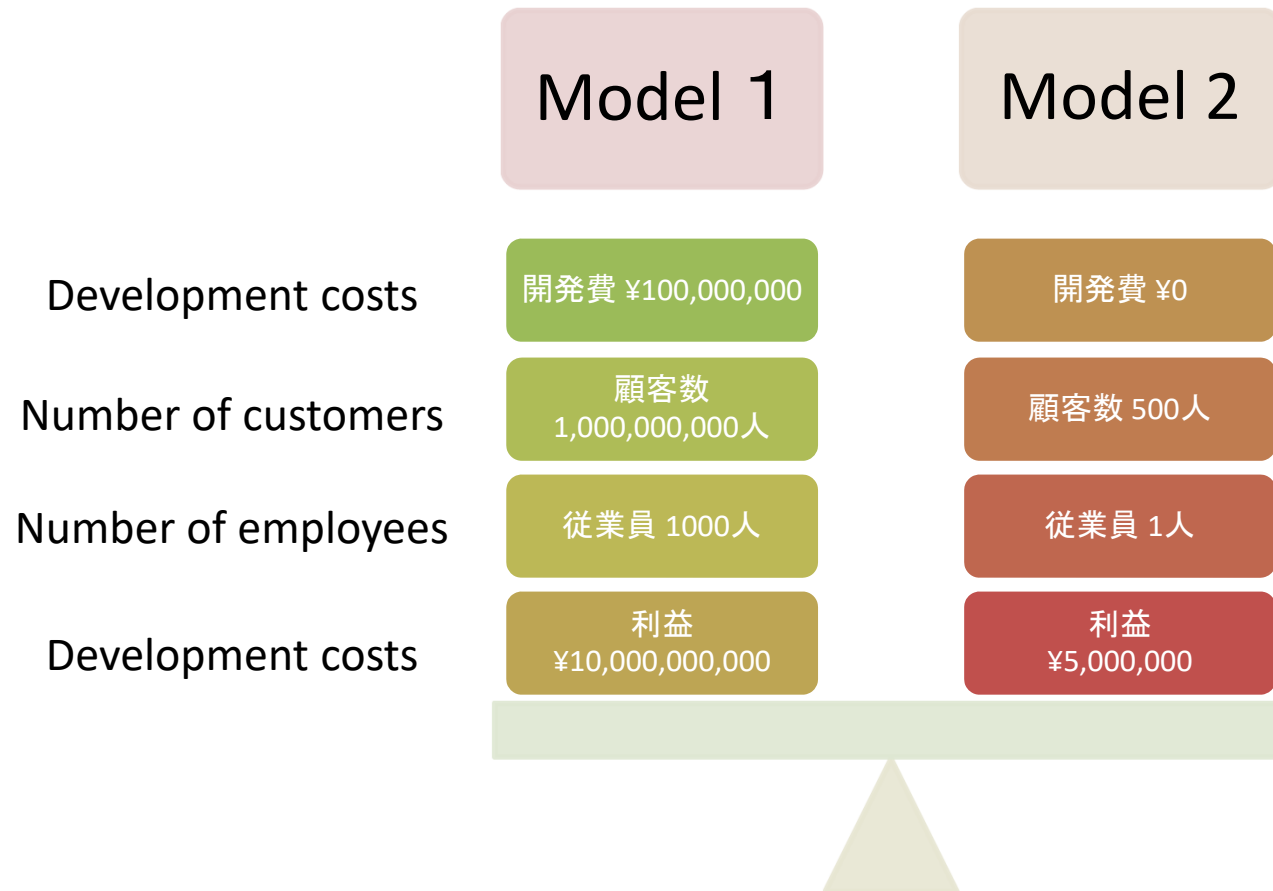
講義担当企業の企業理念、事業の概要などを、
WEBページで調べておくこと。

質問をしよう

Should you have any questions please feel free to ask the speaker.

- どんな質問でもかまいません
 - 質問に上下はありませんが、一般的に具体的で簡潔な質問は歓迎されます(就職面接でも同じ)。
- 話の途中でかまいません
- 回答がわからなければ再質問しよう
- 質問のために時間オーバーした場合は退席しても問題ありません
- コーディネータは質問や口出しをしません

問(Quiz)



どちらのほうが社会で役立っているだろうか？

Which do you intend to?

次回講師からのご案内

- 4/15 プログラミング体験・アイデアを形にする生き方
ハックフォープレイ株式会社 代表取締役社長

寺本大輝氏

- まずはみなさん全員にプログラミングを体験してもらって、そのあと、起業したキッカケとか、進路の決め方とか、0→1の話をして、最後に、みなさん一人一人のアイデアを練ってもらいます。**パソコンかタブレットを持参してください**
- **Please bring your notebook (computer) or tablet.**
- 備考:貸し出し用のパソコンを10台ほど持っていますが、限りがあるので、なるべく持参するようお願いいたします